

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査では、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、目的や意図に応じ、資料を使って話したりする問題への正答率が高いことが分かりました。これは、朝の会での1分間スピーチの取組や、国語科での「話すこと・聞くこと」の学習で身に付けた力を、総合的な学習の時間や児童の実生活に生かせるような取組の工夫を続けてきた成果だと考えています。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、「している」と回答した児童は63.0%と、令和2年度の調査と比較し、37ポイント上昇しました。これは、家庭学習の手引きを毎年見直して、児童の実態に応じたものとするとともに、家庭学習の目的や意図を児童や保護者へ丁寧に説明する取組が、結果に反映されたものと思われま。また、優れた自主学習ノートの紹介を通して、児童の意欲が向上したことも一因と考えます。

課題と対応

国語科では、説明的な文章を読み、分かったことを要約したり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見つけたりする力に課題があることが明らかになりました。朝読書を通して読書の幅を広げるとともに、新聞等、文字に触れる機会を増やしていきたいと考えています。また、授業を通して、長文を要約する学習活動の機会を増やしていきたいと考えています。

算数科では、三角形や複数の図形を組み合わせた図形の面積を求める力に課題があることが明らかになりました。授業では、具体物の操作を通して、三角形と平行四辺形の面積の関係を調べたり、それぞれの面積を求めたりしながら、工夫して面積を求めることができるようにしたいと考えています。

質問紙調査の結果から、「人の役に立つ人間になりたい」「将来の夢や目標を持っている」児童が少ないことが分かりました。学年に相応した、将来や目標について具体的にイメージできる機会を取り入れ、6年間を通したキャリア教育の充実を図っていききたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

自主学習の取組が浸透し、自分で計画を立てて勉強している児童が少しずつ増えてきています。しかし、平日の読書時間が少ない児童の割合が高いことや、家の中での会話の時間が少ない点が気になることです。ご家庭でも、いろいろな学習の素地となる力を養う「木」に親しむ機会や、その日にあった出来事などを話すなど、家族の対話の機会を今以上にもっていただきたいと思っています。ご協力よろしくお願いたします。

質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」の肯定的回答率は県や全国に比べて高いという結果でした。これは、互いに認め合い、支え合いながら課題解決に取り組む児童を育てる日々の実践の成果と考えています。また、家庭や地域のみなさまに見守られながら、安心して生活することができていることも大きな要因と考えます。今後ともご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	物語や説明文の内容を読み取り、問いに対して決められた文字数で答えることができる。
	社会	スーパーマーケットの販売の工夫や、警察の仕事内容についてよく理解している。
	算数	二等辺三角形や円などの図形の性質についてよく理解している。
	理科	電気の通り道や磁石の性質など、実験を通しての学習内容についてよく理解している。
	学習状況	自分にはよいところがあるなど、自己肯定感が比較的高い。
第5学年	国語	物語文の登場人物の気持ちを叙述をもとにとらえることができる。
	社会	防災計画書について自分にできることを考え表現することができる。
	算数	折れ線グラフを理解し、正しく読み取ることができる。
	理科	虫めがねの使い方を身に付けている。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて学習している。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	漢字の読み方や慣用句など、言葉の学習に関する知識の習得に課題がある。	国語科では、学習時だけでなく、様々な授業場面で、主語・述語や修飾語などの文法を意識できるようにし、家庭学習などで文法に関する課題を繰り返し行う機会を増やしていきます。また、特定の教科に限らず、問題をよく読む習慣を付けるとともに、複数の資料から必要な情報を選択したり、読み取った情報やキーワードになる事柄や言葉をもとに整理し、まとめたりする活動を増やしていきます。算数科では、身近な具体物を用いて単位の理解を深めるとともに、基本単位の関係を教室に掲示したり、朝学習の時間を使って繰り返し学習に取り組んだりすることで、基礎学力を身に付けるようにします。理科では、実験や観察の視点をはっきりさせることや視点に沿ったまとめや振り返りを行うことを基本に、体験活動を通して学習内容が実感を伴って定着するようにしていきます。 学習状況では引き続きメディアコントロールの取組を家庭と連携して行うとともに、メディアとの付き合い方を指導する授業を計画して行います。
	社会	資料から問われていることを読み取ることに課題がある。	
	算数	長さやかさなどの単位の意味や、単位同士の関係についての理解に課題がある。	
	理科	目的に応じた実験の方法を計画することに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりテレビの視聴やゲームをしている時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	漢字の書きとりや、物語の内容について叙述を基にとらえることに課題がある。	国語科では、本文中の心情や情景を表す言葉を丁寧に扱い、それらを根拠に登場人物の様子や気持ちを読み取っていくよう指導を改善します。社会科においては、調べ学習や教科書の資料の見方の指導を通して情報を読み取る力を伸ばしていきます。算数科では、授業の中で、式の表す意味を考え、言葉や文で説明する活動を多く取り入れていきます。立式した後、計算だけに終わらず、どう考えたのかを説明し合ったり、友達の式が何を表しているのかを考えたりできるように指導を改善します。理科では、学習内容が日常生活の事象とどう関わり活用されているのかを考える機会を増やしていきます。 学習状況では、日々の授業や学校行事などの振り返りを丁寧に行い、自分自身の成長や変化について考えたり、友達に教えてもらったり認めてもらったりして、気付かなかった自分の成長を実感し、自尊感情を高めていくようにします。
	社会	複数の資料を関連付けて読み取り、自分の言葉で説明することに課題がある。	
	算数	数量の関係を式にしたり、複雑な計算を工夫して計算したりすることに課題がある。	
	理科	水の体積が変わらない性質を利用した日常生活のものを理解していることに課題がある。	
	学習状況	「自分にはよいところがある」などの自己肯定感が低い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

学校での授業では、児童の主体的・対話的で深い学びの姿が実現できるよう授業改善を行いながら、学年に応じた学力を確実に習得できるように取り組めますので、ご家庭でも自主学習や読書の時間の確保をお願いします。また、苦手な課題や授業での復習などに進んで取り組む姿に励ましの言葉をかけていただくと、児童のさらなる意欲の向上につながります。また、高学年になると、テレビ・ゲーム・インターネットなどに接する時間が長い傾向にあります。メディアと正しく、上手に付き合えるようご家庭でよく話し合い、約束を決め、守ることができるよう、声かけ等のご協力をよろしくお願い致します。